

## 覚書

一 日光宮様江之御手懸り下冷泉宰相様  
右者日光宮様「虫損」様ニ而御座候徳田主水  
取次ヲ以御出入ニ相済御不便被為思召  
乍恐私儀寸志之御願江籠下リ候節者  
則從冷泉様御書ヲ以

日光宮様江御願被為遊被為下候儀ニ御座候  
一 西ノ御丸様大上膳おりせ御方様

右おりせ御方様御里元桜井三位様

則三位様御妹姫様也

おりせ様姉姫様松平大和守様御母堂様也  
主水事元來松平大和守様より出候徳田家也  
依之大和守様江御出入仕候ニ付桜井様江茂御  
懇意ニ御出入仕候就夫私義も主水取持ヲ以御出入ニ  
相済江府江籠下リ候節者從三位様

おりせ御方様江御頼御書被為遣可被下之儀ニ御座候  
一 公方様御側御用人加納遠江守様

御内用人

富樫弥助様

金子文治様

右御方様江御手懸り 鞍馬山命寿院

京都革堂行願寺

右式ヶ寺兼帶

智泉院

役者吉祥院

此命寿院儀者私共代々宿坊檀縁ニ而御座候

尤右之命寿院義加納遠江守様御内富樫弥助様ヘ  
所縁御座候由ニ付依之遠江守様江乍恐御願之寸志  
御内證被仰上被為下候様ニ奉願候處ニ御請込

宜敷御座候尤例歲鞍馬山御札御持參ニ而

命寿院江戸江御下リ被成候、則當年正月十一日ニ

(貼紙) 「去三月」

京都御出足被成候「去月二月」御帰京被成候然者御頼  
申上候一儀右之弥助様ヲ以御頼被仰上被下處ニ

愈其者江府江罷出候ハヽ御不便ニ被為思召可被為下旨  
弥助様より命寿院江被仰候之旨命寿院被仰聞候

儀ニ御座候

右 御堂上様方御手懸り之趣御内證事ニ而  
御座候、以上

大谷九右衛門

(貼紙)「己二月」

(貼紙下)「辰ノ四月カ」